

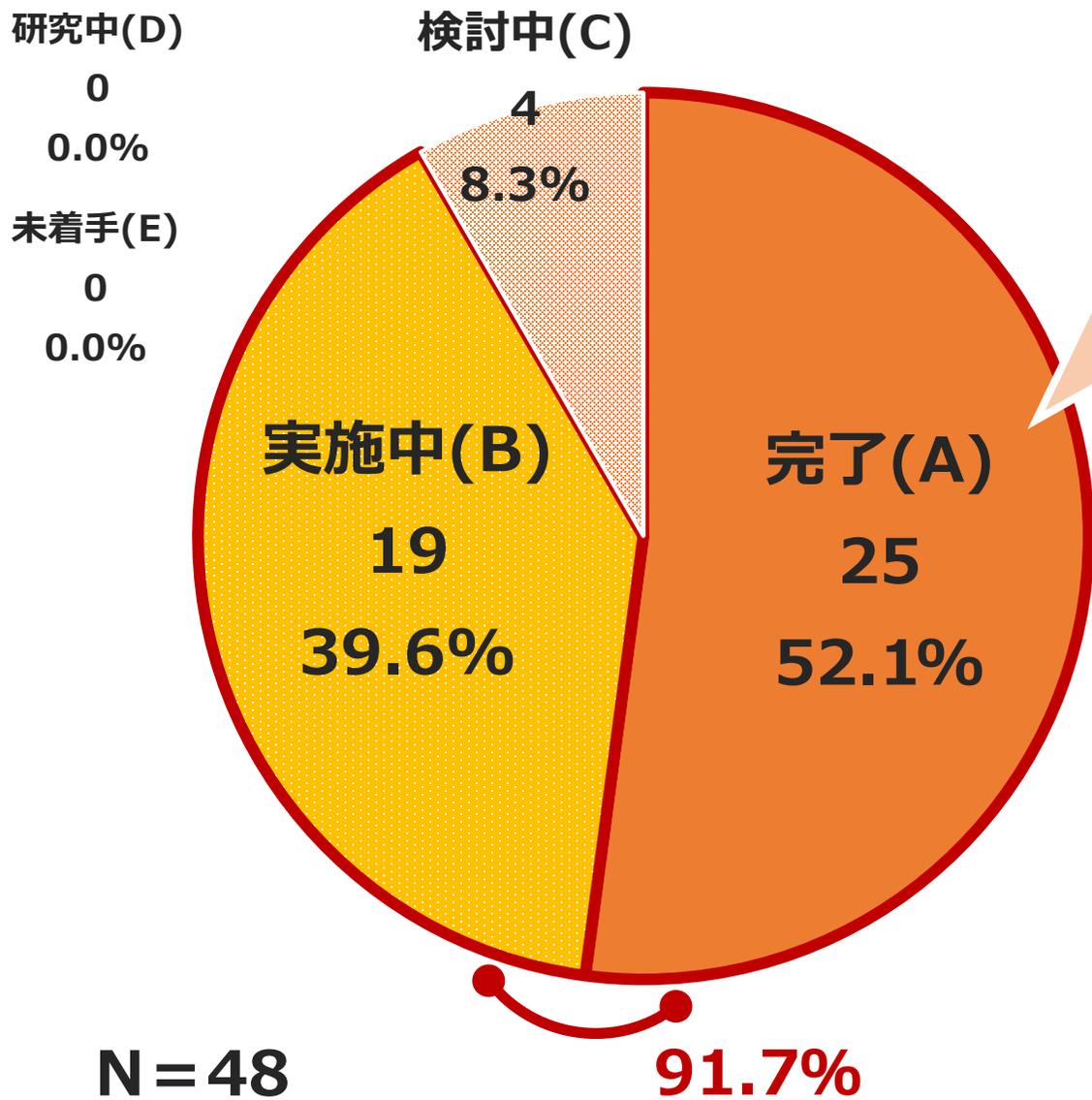
2019.5 – 2023.3

公約に基づく取組のまとめ

公約の構成

10の基本政策	48の項目
1. 桐生独自の『子育て・教育環境』を目指して	公約番号 1～5
2. 人口減少対策に全力投球！	〃 6～10
3. 産業振興と雇用の拡大・もっと民間活力を！	〃 11～18
4. 市民力を活かした観光誘客！	〃 19～22
5. 安全・安心の暮らしづくり	〃 23～30
6. 生きがいと健康のまちづくり	〃 31～33
7. 便利で、快適な、交通網の整備！	〃 34～36
8. 役所が変われば、まちが変わる 市民参加と市役所一新を！	〃 37～41
9. 未来志向の広域行政を推進！	〃 42～45
10. オール桐生で「新たな価値観」を創造・共有するまちづくり	〃 46～48

令和5年3月末時点の進捗状況



公約の48の項目のうち、“完了”と“実施中”を合わせると、9割以上進捗

令和5年3月31日 : 91.7%

↑ 令和4年10月1日 : 89.6%

令和4年3月31日 : 85.4%

令和3年4月1日 : 83.3%

令和2年4月1日 : 70.8%

1. 桐生独自の『子育て・教育環境』を目指して

公約
番号

項目

1. 桐生から世界に翔く人材を育てる『桐生独自の教育プログラム』の創出
2. 妊娠・出産・産後ケアから、ひとり親支援まで切れ目のない子育て支援
3. 子どもの命を守る専門係の設置
4. 女性活躍のまちづくり
5. 桐生で働き、桐生に住みたい！職業体験イベントの創出



桐生から世界に翔く人材を育てる『桐生独自の教育プログラム』の創出

桐生の歴史や文化、自然環境を活用し、桐生から世界に翔く人材を育てる。最先端テクノロジーに触れ、外国語を幼い頃から自然と身につけられる教育環境の整備に取り組みます。すでに実績ある「未来創生塾」「サイエンスドクター事業」の更なる充実と、そこで積み重ねたノウハウを活かし『桐生モデル』を確立し、幼・小・中・高の一貫した桐生独自の教育プログラムの創出に取り組みます。

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



これまでの主な取組

幼い頃から外国語にふれる活動

- 公立幼稚園へのALTや民間講師の派遣
- 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中学生海外派遣事業（コロンバス市）を中止し、オンライン交流活動を実施
- 黒保根町の保育園、黒保根学園における英会話指導の実施



桐生市立黒保根学園



小学校でのプログラミング学習

群馬大学との連携による桐生ならではの教育

- オンライン授業やプログラミングツールを活用したサイエンスドクター事業の実施
- 未来創生塾「MAYUを使った環境教育」の拡充



未来創生塾「清流読書」

特色ある教育の推進

- 小・中一体型の義務教育学校「桐生市立黒保根学園」を開校

令和5年度に予定する取組

- 学校運営協議会の下、「桐生市立黒保根学園」を“コミュニティ・スクール”として、地域一体となった学校づくり・人材育成を推進
- 引き続き、サイエンスドクター事業や未来創生塾支援等を通じ、桐生ならではの特色ある教育を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

妊娠・出産・産後ケアから、ひとり親支援まで 切れ目のない子育て支援

「子どもを産み育てるまち、桐生」妊娠、出産、産後、育児まで、お母さんのケアにもしっかりと取り組みます。そして、ひとり親となってしまった世帯にもしっかりと支援を充実します。



これまでの主な取組

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

- 不妊・不育症治療費助成事業の通算回数制限を撤廃
- 桐生厚生総合病院での産後ケア事業を開始
- おたふくかぜ予防接種助成の開始
- 母子手帳アプリの導入
- 産後ケアの充実のため、養育支援訪問事業を開始
- ペアレントメンターキックオフ研修会を実施

ひとり親への支援

- 保健福祉会館への子どもすこやか部の設置により、ワンストップ相談体制を構築



母子手帳アプリ「すくすくキルビー」



「ペアレントメンターキックオフ研修会」の様子

令和5年度に予定する取組

- 発達障害や不登校等の子育てを経験したメンター（助言者）による、保護者同士の共感やつながりを生み出す「ペアレントメンター事業」を推進
- 子どもの医療費無料化の対象を、これまでの15歳の年度末から18歳の年度末まで拡大

進捗状況
R5.3月末時点

A

子どもの命を守る専門係の設置

子ども達は桐生の宝です。いじめ、虐待、DV、自殺の未然の予防を重視し、セクションの垣根を越えて総合的に子どもたちの命を守る専門係を設置します。



これまでの主な取組

相談体制等の強化

- 作業療法士・公認心理師等を配置
- 子ども・子育て総合相談「子どもすこやかホットライン」(家庭児童相談、児童虐待相談、青少年相談) を開設
- ヤングケアラー研修会を開始

いじめ対策の推進

- 「いじめ相談窓口」(教育支援係・教育研究所) における相談対応を実施
- スクールロイヤーを配置



「ヤングケアラー研修会」の様子



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、様々な関係機関と連携しながら、子育てに関する相談体制の充実を図るとともに、ヤングケアラーやいじめ、虐待等の早期発見・対策に資する取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

女性活躍のまちづくり

女性がいいきと活躍できるサポート体制づくりと、男女共同参画・男性の意識改革（家事・育児・介護）の促進につとめます。

5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平 をなくそう	16 平和と公正を すべての人に
---------------------	------------------	--------------------	---------------------

これまでの主な取組

男女共同参画の推進

- 男女共同参画計画を策定
- 機構改革により、「女性活躍・多文化共生担当」を設置
- 男性の意識改革を促すセミナーを実施
- 市職員による身近なジェンダーギャップの課題把握・課題解決のためのワーキンググループを設置・開催



「桐生市男女共同参画セミナー」の様子



桐生市男女共同参画セミナー

**女性のための
防災力UP講座**

【日時】 令和2年2月2日(日) 午前10:00~12:00
2月8日(土) 午後1:00~4:00

【会場】 桐生市民文化会館 3F 301号室

【講師】 小山内 世澄子 氏
一般社団法人男女共同参画推進センター代表理事

【対象】 女性30名(先着順)

【内容】 第1回は講義とグループワーク、第2回は学んだ知識を実践できしむための実践的演習・ディスカッションを行います。

【申込先】 桐生市 市民生活課 男女共同参画推進室・生活係
TEL: 0277-46-1111 (内線271) FAX: 0277-46-9000
Eメール: shiminsekisaku@city.kiryu.lg.jp

令和5年度に予定する取組

- 市職員による課題把握、課題解決のためのワーキンググループを設置・開催
- 引き続き、男女共同参画に資する広報活動を展開するとともに、「桐生市女性人材リスト」の充実と政策決定における組織の人選への活用を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

桐生で働き、桐生に住みたい！職業体験イベントの創出

子ども達が職業体験を通じて「自分の将来」をデザインし『桐生で働き・桐生に住み続けたい』と思える職業体験イベント『Good Job桐生』の創出にオール桐生で取り組みます。



これまでの主な取組

職業体験イベントの開催

- 令和3年度、市制施行100周年と桐生青年会議所創立65周年記念事業として、職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう2021」を開催
- 令和4年度、「ミニきりゅう実行委員会」と共催し、11月5日（土）、6日（日）に職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう2022」を継続開催



令和5年度に予定する取組

- 小学生を対象とした職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう」を継続開催

進捗状況
R5.3月末時点

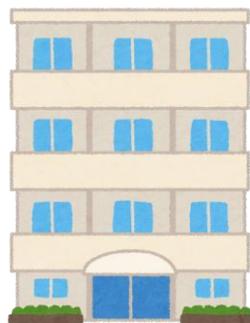
A

2.人口減少対策に全力投球！

公約
番号

項目

6. 交流人口を増やし、関係人口を構築し、定住人口に結び付けます
7. 国際化に伴う外国人材との共生と環境整備
8. 空き家、空き地、市営住宅の空き部屋の対策を積極的に進めます
9. 若者が住みたい！住み続けたい！と思える環境づくり
10. CCRC構想の研究



交流人口を増やし、関係人口を構築し、定住人口に結び付けます

桐生の素晴らしい財産を発信し、交流人口の増加につとめ、祭りや地域の行事に積極的に参加していただくことで、定住人口に結び付けます。

8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	----------------------	--------------------------

これまでの主な取組

観光拠点機能の充実

- 公民連携によるまちなか観光拠点、桐生市観光情報センター「シルクル桐生」において、観光情報発信・物産振興を推進
- (一社) 桐生市観光物産協会との連携事業を推進



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」

移住・定住の促進

- 首都圏での移住相談会への参加やオンラインでの移住相談を実施
- お試し暮らし事業を実施
- 黒保根交流促進センターを活用したワーケーションを推進
- 黒保根町移住体験ツアーを実施



移住相談会の様子

コロナ禍における観光施策の推進

- 宿泊者（要件あり）に桐生市電子地域通貨「桐ペイ」を交付し、宿泊と市内経済循環を推進

令和5年度に予定する取組

- イベント等を通じた関係人口創出事業を実施
- 引き続き、交流人口の創出に向けた取組や移住・定住に資する取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

これまでの主な取組

多文化共生社会に向けた取組の推進

- 国際理解教育等の充実を図るため、群馬大学理工学部留学生を園・学校に派遣
- 群馬大学国際センター公認学生団体Le Pont（ルポン）との連携した取組を調整
- 機構改革により、「女性活躍・多文化共生担当」を設置



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、群馬大学国際センター公認学生団体Le Pont（ルポン）との調整を進めながら、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

空き家、空き地、市営住宅の空き部屋の対策を積極的に進めます

年々増える空き家、空き地、市営住宅の空き部屋などの対策、整備で、移住や定住人口の増加に取り組みます。

これまでの主な取組

空き家・空き地対策の推進

- 空き家の利活用や除却に関する助成制度の要件を緩和
- 移住相談会や空き家見学会、オンラインでの移住相談を実施
- 農地付き空き家の活用（農地取得の下限面積の規制を緩和）
- 空き家・空き地バンク登録物件の動画を配信

市営住宅の空き部屋対策の推進

- 市営住宅条例の改正（単身者の入居要件の緩和、連帯保証人規定の廃止、子育て世帯の要件緩和）
- 一部用途廃止し、市営住宅「新宿ハイツ」の一般入居募集を開始

ひまわり団地早期完売の推進

- 販売価格・条件の見直しを実施



YouTube「桐生市チャンネル」



市営住宅「新宿ハイツ」

令和5年度に予定する取組

- 市営住宅「梅田ハイツ」の入居要件を緩和
- 引き続き、SNS等の各種メディアを活用した情報発信を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

若者が住みたい！住み続けたい！と思える環境づくり

「きりゅう暮らし応援制度」の継続と充実に取り組み、転出しないための施策にも真剣に取り組めます。

これまでの主な取組

きりゅう暮らしを応援

- きりゅう暮らし応援事業の4つの助成制度を継続実施
- 若者をはじめとする市内在住者の定住に向けた支援となるよう、きりゅう暮らし応援事業の住宅の取得や空き家利活用に関する助成制度の見直しを実施
- 若年層の移住・定住に結び付けるための施策についての検討を行う外部委員組織「桐生市総合戦略推進委員会ワーキンググループ」を設置



桐生市総合戦略推進委員会ワーキンググループ



令和5年度に予定する取組

- 「桐生市総合戦略推進委員会ワーキンググループ」が取りまとめた「人口減少対策に関する提言書」に基づき、「移住・定住に関するワンストップ窓口」を設置
- 見直しを図った「きりゅう暮らし応援事業」の各助成制度を継続実施

進捗状況
R5.3月末時点

A



これまでの主な取組

生涯活躍のまち（日本版CCRC）構想の研究

- 国の政策転換を踏まえた「（仮称）桐生ならではの「生涯活躍のまち」構想についての庁内検討を実施

※ 国では、「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想について、以下の内容に位置づけを見直している。

「生涯活躍のまち」は女性、高齢者、障がい者など誰もが、一人ひとりの個性と多様性を尊重され、それぞれの希望に応じて能力を発揮することで、居場所と役割を持つつながり、生涯を通じて健康でアクティブに活躍することによって、活性化するコミュニティづくりを目指すものです。」

【出典】「生涯活躍のまちづくりに関するガイドライン（2020，内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）」



令和5年度に予定する取組

- 「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想の考え方を反映した「桐生市第六次総合計画」後期基本計画を策定

進捗状況
R5.3月末時点

C

3 .産業振興と雇用の拡大・もっと民間活力を！

公約 番号	項目
11.	産学官そして金融機関とも連携強化で起業や研究を積極サポート
12.	経済も地産地消を推進します
13.	市営施設の健全経営と民営化を検討
14.	桐生の自然を活かした、企業誘致を推進
15.	農業・林業の振興
16.	学校跡地を研究拠点に・・・利用の検討
17.	『今日は、地元・桐生のお店で買い物しよう！』 ～桐生版スモール・ビジネス・サタデー～の研究
18.	織都・繊維の総合産地として事業承継を支援



産学官そして金融機関とも連携強化で起業や研究を積極サポート

市内企業と、群馬大学や学術・研究機関、金融機関との交流を促進。時代の変化に対応した次世代産業の起業や研究支援を活発に支援します。



これまでの主な取組

起業を支援

- 空き店舗活用による開業・創業を支援
- 桐生市商業者情報発信サイト「桐生あきない日記」を掲載
- インキュベーションオフィスの入居要件と料金体系を変更
- 東武ビル 1 階に「チャレンジショップ」、2 階を創業支援・テレワーク拠点となる「シェアオフィス」に施設改修し、3 階の「インキュベーションオフィス」を加えた、新たな創業支援拠点として整備



研究開発を支援

- NPO法人北関東産官学研究会への支援を継続
- 群馬県と協調し、デジタル技術の利活用等により、地域課題解決等を図る中小企業の新製品・新技術の開発を支援



令和5年度に予定する取組

- 創業支援拠点である東武ビル 1 階の「チャレンジショップ」、2 階の「シェアオフィス」、3 階の「インキュベーションオフィス」をPRしながら、引き続き、桐生市創業支援等事業計画に基づく創業支援や北関東産官学研究会への支援を通じた次世代産業の育成を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

経済も地産地消を推進します

繊維産業、エネルギー産業、農業、林業、畜産業や各種製造業のマッチングや情報発信の推進で、地産地消の経済循環を進めます。



これまでの主な取組

地域経済の好循環を創出

- 地域経済循環創出・拡大のため、中小企業等の新製品開発やビジネスマッチングフェア等による販路開拓を支援
- 商工会議所と連携した「made in 桐生のマスク」の取組を進展させた「桐生クラフトブランド化支援事業」を開始

地産地消の取組を推進

- 木質エネルギーの有効活用を視野に入れた低質材搬出利用補助金を創設
- 林業体験イベントを実施
- 環境に配慮し地産地消を考慮したクリーンな電力を市役所本庁舎へ導入
- 学校給食の残渣を活用した循環型の地産地消の取組を開始



「令和元年ビジネスマッチングフェア」の様子



新学校給食中央共同調理場

令和5年度に予定する取組

- 市産木材を活用した記念品贈呈事業を開始
- 引き続き、「桐生クラフト」のブランド化に取り組む桐生商工会議所と連携し、「メイドイン桐生」の商品の販路拡大等を支援するなど、地域経済の好循環に向けた取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

市営施設の健全経営と民営化を検討

『将来にツケを残さない』今こそ10年後、20年後の将来にわたる市営施設の、健全な運営を検討しなければなりません。
意欲ある民間団体・企業による運営も視野に検討を進めます。



これまでの主な取組

民間活力の活用

- 「桐生市行政改革方針実施計画」に基づく取組を推進
- 花見ヶ原森林公園と利平茶屋森林公園の指定管理者制度の導入に向け、サウンディング型市場調査や選定委員会等を実施

公共施設等の適正管理の推進

- 桐生・みどり未来創生会議結果を踏まえ、みどり市との広域的な枠組みも視野に入れた公共施設の相互利用について協議するとともに、集会施設やスポーツ施設等の施設類型ごとの個別計画の策定を検討



花見ヶ原森林公園



利平茶屋森林公園

令和5年度に予定する取組

- 花見ヶ原森林公園と利平茶屋森林公園に指定管理者制度を導入
- 引き続き、「桐生市公共施設等総合管理計画」に基づく、将来を見据えた施設の適正管理を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

桐生の自然を活かした、企業誘致を推進

桐生の水資源や自然を活かす企業誘致の促進。

これまでの主な取組

企業立地の推進

- 優遇制度による企業立地を促進
- 群馬県と連携した新規工業団地を研究・検討
- 黒保根町内に飲食等宿泊施設事業（地元食材や観光資源等の地域資源を活用）を誘致



桐生武井西工業団地



黒保根町内飲食等宿泊施設予定地

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、群馬県と連携した新規工業団地を研究・検討しながら、桐生市の自然環境等を活かした企業誘致活動を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

農業・林業の振興

農業の六次化支援企業の誘致を目指し『ブランド化』や『担い手不足』の解消に取り組みます。
新たな新建材CLT（直交集積板）の研究を進め、木材需要の拡大を広域的に進めます。



これまでの主な取組

農業の活性化

- CSF（豚熱）への対策を支援
- 新里地域の農業振興のため、地域おこし協力隊を登用
- 地域おこし協力隊による旧黒保根共同調理場を拠点とした6次産業に資する取組を推進

林業の活性化

- 東毛地区の豊富な森林資源の利用拡大を目的とする「桐生木材ヤード」を整備
- 林道・作業道整備や高性能林業機械の導入を支援
- 担い手対策としての林業保護具の購入支援を開始



令和5年度に予定する取組

- 酒米生産に対し、新たな支援を開始するなど、6次産業化に向けた農業者等の取組を促進
- 引き続き、CSF（豚熱）等の家畜伝染病のまん延防止に向けた対策強化を推進
- 森林環境譲与税を活用した林業機械の修繕等に対する補助制度を開始

進捗状況
R5.3月末時点

B

学校跡地を研究拠点に・・・利用の検討

急加速する次世代の産業構造の変化に目を向け、学校跡地を「次世代産業の研究拠点」として、将来の地元の地場産業に結びつく利用を検討します。（群大理工学部の研究拠点や次世代モビリティ新EVなど）



これまでの主な取組

旧北中学校の本格活用に向けた調整

- 群馬大学理工学部との協議を実施
- 群馬大学理工学部の次世代モビリティの試験研究の場として提供
- 群馬大学における次世代モビリティの研究との連携も視野に入れ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「地域交通課題の解決に向けた連携・協力に関する協定書」を締結



旧北中学校



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、旧北中学校を群馬大学理工学部における次世代モビリティの試験研究の場として提供しながら、今後の本格活用に向けた協議を実施

進捗状況
R5.3月末時点

C

『今日は、地元・桐生のお店で買い物しよう！』 ～桐生版スモール・ビジネス・サタデー～の研究

地元の商店や飲食店に目を向け、地元消費を奨励する毎年の恒例行事として、「今日は、地元・桐生のお店で買い物しよう！」の日、を提唱。桐生独自の新しいビジネスモデル「桐生版スモール・ビジネス・サタデー」を、オール桐生で研究し、構築します。



これまでの主な取組

地元・桐生での消費喚起策の推進

- 「地元で使って、地元を支える！桐生応援共同宣言」を実施
- 新型コロナウイルス感染症対策として、「桐生応援プレミアム商品券」の発行、「キャッシュレス決済推進事業」を実施

桐生版スモール・ビジネス・サタデーの推進

- 桐生商店連盟協同組合と各商店街振興組合による「100円商店街in桐生 “桐生版スモール・ビジネス・サタデー”」を連携実施
- 地域店舗買物促進事業補助金を開始
- 市内加盟店で利用できる桐生市電子地域通貨「桐ペイ」の導入とプレミアムポイント付与キャンペーン等を実施
- 桐生商店連盟協同組合とまちづくりミーティングを実施



「まちづくりミーティング」の様子

令和5年度に予定する取組

- 桐生市電子地域通貨「桐ペイ」を活用した全庁的な取組を推進
- 引き続き、“桐生版スモール・ビジネス・サタデー”を連携実施するとともに、関係機関・関係団体等と連携しながら、地元消費を奨励する取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

織都・繊維の総合産地として事業承継を支援

「西の西陣・東の桐生」繊維の総合産地としての事業承継を支援するため、桐生で働く意欲のある、若手デザイナーや従業員、研修生、学生が集い、学び、情報交換できる環境の整備に取り組みます。



これまでの主な取組

事業承継支援の充実

- 事業承継支援を手掛ける民間事業者と連携した取組を推進
- 桐生商工会議所と桐生信用金庫との三者連携による、「前向きな事業のたたみ方相談窓口」を設置
- まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業を開始



「事業承継スキルアップセミナー」の様子

市内繊維産業を担う後継者の育成

- 桐生繊維大学等を実施

市内繊維産業を知ってもらう取組の推進

- 桐生産地・ファッションビジネス調査研究インターン事業への協力を実施
- オープンファクトリー支援事業を開始



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、桐生産地・ファッションビジネス調査研究インターン事業への協力やオープンファクトリーを支援し、市内繊維産業を知ってもらうための取組等を実施するとともに、各種制度の積極的な周知を行い、事業承継に繋がる取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

4 .市民力を活かした観光誘客！

公約
番号

項目

19. 伝建群（桐生新町伝統的建造物群保存地区）を桐生の顔に・・・統一感ある整備を
20. 桐生八木節まつり、各種のイベントでの観光誘客する市民団体を積極的に支援
21. 広域市と、戦略的に観光イベントや周遊コースづくりで連携します。
22. 群馬DCに積極的に、連携します
（ディスティネーションキャンペーン：2020年4月～6月開催）



伝建群（桐生新町伝統的建造物群保存地区）を 桐生の顔に・・・統一感ある整備を

伝建群や市内観光の案内所・休憩所や公衆トイレの設置。無料wi-fiの設置。既設のビーコン(位置情報機能)の活用で、観光アプリの開発に取り組みます。



これまでの主な取組

重伝建地区周辺整備の推進

- (仮称) 重伝建地区公開活用施設の整備を推進
- 桐生新町伝建地区及び周辺整備を推進

日本遺産を活用した観光施策の推進

- 群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用した桐生市版のスタンプラリーを実施
- 日本遺産めぐりバスツアーを実施
- 未来創生塾「日本遺産講座」を実施し、ジュニアアンバサダーを認定するとともに、ジュニアアンバサダーによる日本遺産案内等を実施し、ジュニアガイドマイスターを認定

観光ビジョンの策定

- 観光施策の方向性をまとめた観光ビジョンを策定



(仮称) 重伝建地区公開活用施設イメージ図



未来創生塾「日本遺産講座」の様子



県道桐生田沼線 重伝建地区道路整備完了後のイメージ図 (桐生土木事務所提供)

令和5年度に予定する取組

- 重伝建地区の来訪者の利便性向上のため、公衆トイレ整備に着手するなど、重伝建地区周辺整備を推進するとともに、ジュニアアンバサダーによる日本遺産案内を実施するなど、日本遺産を活用した観光施策を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

桐生八木節まつり、各種のイベントでの観光誘客する市民団体を積極的に支援

お祭り、イベント、市（いち）などを、素晴らしい観光資源と位置づけ、市民力、民間活力を積極的に支援し、その魅力を発信して、誘客の強化と地域経済発展に結びつけます。

これまでの主な取組

公民連携による観光まちづくりの推進

- 桐生八木節まつりや市民団体によるイベント等を積極的にPR
- 桐生市観光情報センター「シルクル桐生」前の群馬銀行駐車場を利活用するための体制づくりと、公民連携によるイベントを実施
- 地域おこし協力隊による物産振興や情報発信を推進
- 桐生八木節まつりの今後のあり方に関する意見聴取を実施



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」



群馬銀行駐車場を活用したイベントの様子

令和5年度に予定する取組

- 桐生八木節まつりの本格開催に向けた準備を進めるとともに、令和6年度以降のあり方を検討
- 引き続き、まちなか観光拠点である桐生市観光情報センター「シルクル桐生」を中心に、公民連携による観光まちづくりを推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

広域市と、戦略的に観光イベントや周遊コースづくりで連携します

みどり市や足利市、太田市、日光市など広域市との観光誘致の連携を進めます。
外国人や大都市圏からの観光誘客に、戦略的に取り組み、観光イベントの連携や周遊コースづくりに取り組みます。



これまでの主な取組

広域連携事業の推進

- 前橋市をはじめとする赤城山周辺の自治体と連携した「赤城山広域連携サイクルツーリズム事業」を推進
- 「桐生・みどり周遊観光推進協議会」を設置し、モニターツアーを実施して首都圏からの周遊ツアーコースを検討
- 桐生市、館林市、足利市の3市による「両毛3市連携共同宣言」を実施
- 桐生市、館林市、足利市の3市合同で「首都圏観光情報発信会」を実施（群馬県共催）
- 桐生市、館林市、足利市との共催による「日本遺産シンポジウムin足利」を実施
- 群馬県との共催に加え、県内日本遺産構成市町村及び館林市・足利市と連携し、「日本遺産の日」展を実施
- 「絹に願いを！」～シルクロードが紡ぐ世界遺産の街・日本遺産の街 桐生市、富岡市、八王子市～を開催
- 八王子市との日本遺産での連携強化を図るため、「千百年を紡ぐ八王子織物展」(日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子プレイベント)に参加
- 東武鉄道沿線市で作る「両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議」において、首都圏での観光キャンペーンや貨客混載事業を実施



令和5年度に予定する取組

- 八王子市との日本遺産での連携強化を図るため、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」に参加
- 引き続き、館林市、足利市と連携し、日本遺産のPRを実施
- 坂口安吾ゆかりの地としてつながりのある十日町市、新潟市との連携を推進
- 引き続き、桐生市・みどり周遊観光推進協議会において、首都圏から日光市を含めた広域周遊ルートを検討

進捗状況
R5.3月末時点

A

群馬DCに積極的に、連携します (ディステーションキャンペーン：2020年4月～6月開催)

JR旅客6社の宣伝媒体を活用した国内最大規模の観光キャンペーン、群馬DCを有効に活用し、観光客の増加につとめます。

これまでの主な取組

群馬DCの推進

- 新型コロナウイルスの影響による、令和2年度のディステーションキャンペーンと令和3年度のアフターDCの事業の中止を踏まえ、新たな観光のスタイルを取り入れた観光素材の掘り起こしや、JRとの連携事業（ハイキング・両毛線での連携・スタンプラリー）を実施
- エキナカシアショップやステーションピアノのPRを実施

JRとの連携

- 四鉄道合同ハイキング事業や両毛線沿線市での着物関連イベントを実施
- えきなか市など駅活性化に向けた取り組みの調整と情報発信を実施



エキナカショップ（JR桐生駅構内）

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、JRとの連携事業（ハイキングや両毛線での連携）や駅活性化に向けた取組を推進

5 .安全・安心の暮らしづくり

公約 番号	項目
23.	『真に助けを求める人に寄り添う』安心の福祉・介護の充実へ新たな相談窓口の設置
24.	厚生病院の改革と改善に取り組みます
25.	公共施設の熱中症対策の強化
26.	災害から命を守る、地域・学校・家庭の備えの充実
27.	通学路の交通安全と、防犯対策の強化
28.	有害鳥獣対策の強化
29.	救急医療体制の広域連携を進めます
30.	ごみのない日本一美しいまちの実現



『真に助けを求める人に寄り添う』安心の福祉・介護の充実へ 新たな相談窓口の設置

障がい者福祉の充実と介護制度の更なる充実のために、新たな相談窓口の設置に取り組みます。

3 すべての人に 健康と福祉を	10 人や国の不平等 をなくそう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう

これまでの主な取組

各セクションが連携した相談体制の構築

- 複雑化・複合化した課題を抱える方・世帯に対する適切な支援を図るための庁内検討体制を構築
- 桐生市社会福祉協議会と連携した窓口相談スキル向上のための取組を推進
- 地域包括支援センターにおける相談体制を充実
(市内8カ所の配置職員を3人→ 4人に1人ずつ増員)

各支援機関が連携し、地域生活課題の解決を支援



令和5年度に予定する取組

- 複雑化・複合化した課題を抱える人に対する適切な支援の充実を図るため、国の重層的支援体制整備事業を活用し、包括的な相談体制や関係機関が連携した支援体制を構築するとともに、真に助けを求める人に寄り添う継続したアウトリーチ支援を実施

進捗状況
R5.3月末時点

B



これまでの主な取組

経営改善に向けた取組の推進

- 病院改革・経営改善に向けた方策を桐生厚生総合病院、みどり市と協議・実施
- 将来を見据えた医師確保対策の強化
 - ◆ 研修医の受入れ人数（R2:4人⇒R3:9人⇒R4:12人）
 - ◆ 「桐生地域医療組合医学生修学資金貸与制度」を利用した医学生が、厚生病院に医師等で勤務等した場合の奨学金全額免除を開始
- 「管理者・副管理者会議」を設置・開催
- 病院運営委員会への管理者・副管理者に出席



令和5年度に予定する取組

- 経営強化のため、「桐生地域医療組合」から「桐生地域医療企業団」へ移行
- 引き続き、桐生厚生総合病院、みどり市との病院改革・経営改善に向けた方策を協議・実施

進捗状況
R5.3月末時点

B

公共施設の熱中症対策の強化

真夏の40度を超える異常気象への対策は命を守るために急務です。
公共施設、グラウンド、公園などの熱中症対策に取り組みます。

これまでの主な取組

熱中症対策の推進

- 高齢者向けの啓発を強化（おりおり通信、けんこうだよりの発行）
- 熱中症警戒アラートや防災無線による注意喚起
- 動画による注意喚起を実施
- 健康情報ステーション（市内68か所の店舗に健康情報のチラシを設置するスペース）を利用した周知を実施
- 民間企業の寄附により、公共施設（JR桐生駅北口）にミストを設置
- 教育環境整備の一環として、中学校9校の理科室にエアコンを設置



JR桐生駅北口



健康情報ステーション

令和5年度に予定する取組

- 教育環境整備の一環として、小学校16校の理科室にエアコンを設置
- 引き続き、様々な周知媒体を通じた周知・啓発活動を実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

災害から命を守る、地域・学校・家庭の備えの充実

巨大地震やゲリラ豪雨など、災害から命を守る、地域、学校、家庭の「備え」の充実に取り組みます。



これまでの主な取組

防災意識の向上

- 小・中学校における防災教育を実施

地域防災力の向上

- 自主防災組織の組織化・活動を支援
- 「避難所運営委員会」の組織化を支援

災害時における対策の強化

- 「避難所における感染症対策プロジェクトチーム」を結成し、「避難所開設運営マニュアル」を策定
- (株)バカンと災害時応援協定を締結し、避難所の混雑状況を配信するサービスの運用を開始
- 新里地区・黒保根地区の防災行政無線のデジタル化を推進
- 消防本部・消防団とのブラインド型災害対応合同訓練を実施



“予告なしの避難訓練”と振り返り授業の様子



ブラインド型災害対応合同訓練の様子

令和5年度に予定する取組

- 桐生地区の災害時情報伝達手段の拡充について検討を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況や妊産婦をはじめとする女性への対応等を踏まえ、避難所開設マニュアルの見直しを実施
- 住民の安否確認を迅速に行うための「災害時安否確認バンドナ」を、桐生産手ぬぐいを活用して導入

進捗状況
R5.3月末時点

A



これまでの主な取組

通学路の安全を確保

- スクールゾーン対策委員会において、危険箇所の洗い出しを行うとともに、対策を検討・実施
- 危険ブロック塀等の撤去を促進するための補助制度を創設
- 学校施設のブロック塀を点検・改修



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、各小学校区で開催するスクールゾーン対策委員会において、危険箇所の洗い出しを行いながら必要な対策を検討・実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

有害鳥獣対策の強化

有害鳥獣対策の充実。(猪・熊・鹿・サル・カワウ・カラス・ハクビシンなど)・雑木の伐採など河川敷の整備にも取り組みます。

2 飢饉を ゼロに 	8 働きがいの 経済成長も 	15 陸の豊かさも 守ろう 
--	--	--

これまでの主な取組

有害鳥獣対策の推進

- 移動式やセンサー式の檻など、有害鳥獣対策に適した捕獲檻の増設や更新等を実施
- 群馬県事業の狩猟免許試験（わな猟・網猟）を桐生市の会場で実施
- 「渡良瀬川治水同盟※」において、国へ渡良瀬川本・支川の維持管理等を要望するとともに、河川敷の雑木の伐採について、桐生市の独自要望活動を実施

- ◆ R3：相川橋から赤岩橋までの雑木の伐採等について国が対応
- ◆ R4：赤岩橋下流から錦桜橋上流までの雑木の伐採等について国が対応

※渡良瀬川治水同盟（会長：足利市 副会長：桐生市、館林市、みどり市 監事：日光市、邑楽町 理事：太田市、佐野市、栃木市、板倉町）



渡良瀬川河川敷の樹木伐採の様子



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、移動式やセンサー式の檻など、有害鳥獣対策に適した捕獲檻の増設や更新等を実施するとともに、防災面からも河川の維持管理等に関する要望活動を実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

救急医療体制の広域連携を進めます

専門性の確立で、広域市との医療体制の充実を働きかけます。



これまでの主な取組

救急搬送体制の連携を推進

- 医師会と連携し、救急告示病院による輪番制の搬送体制の広域連携を推進
- 群馬県の統合型医療情報システムを活用した救急搬送体制の広域連携を推進
- 救急医療体制の課題等について、輪番制病院や桐生市、みどり市、消防の職員で協議・検討を実施



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、救急医療体制の課題等を関係機関と協議・検討しながら、改善策を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

これまでの主な取組

環境美化活動の推進

- 清掃活動を行う団体等への物資支援を実施
- 環境美化アドバイザーによる指導を実施
- ◆ 子どもや子ども会育成団体等を対象とした啓発活動
- ◆ 地域における環境美化に係る啓発活動
- 「ごみのない日本一美しいまちづくり」ののぼり旗と懸垂幕を作成
- ごみ集団回収奨励金の見直し
- 外国人の河川使用に対し、英語・スペイン語・ポルトガル語のごみ捨て禁止看板設置



英語・スペイン語・ポルトガル語のごみ捨て禁止看板



令和5年度に予定する取組

- 環境美化活動を行う子どもに対する報奨として「桐ペイ」を活用
- 引き続き、「ごみのない日本一美しいまちづくり」の実現に向け、広報・啓発活動を実施するとともに、市民がいつでも気軽に清掃活動に参加できるよう、ごみ袋等の物資支援を実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

6 .生きがいと健康のまちづくり

公約
番号

項 目

31. スポーツ施設・河川敷公園の整備
32. 廃校跡地の有効利用の検討
33. 健康寿命の延伸（健康なまち桐生を応援）



スポーツ施設・河川敷公園の整備

各スポーツ施設の整備と有効活用で、地域の生涯スポーツを活発にして「健康で生きがいのある暮らし」をつくれます。



これまでの主な取組

スポーツ施設・河川敷公園の整備

- 桐生市民体育館の改築工事（R2.12月竣工、1月オープン）
- 陸上競技場の改築工事（R3.3月竣工・オープン）
- 桐生市運動公園屋外トイレの改築工事（R5.3月竣工）
- 桐生球場施設改修工事を開始
- さくら遊園グラウンドゴルフ場に用具を設置



小倉クラッチ・スタジアム（桐生球場）



桐生ガススポーツセンター（桐生市民体育館）



森エンジニアリング桐生スタジアム（陸上競技場）

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、スポーツ施設等の状況を踏まえた整備を検討しながら、市民が「健康で生きがいのある暮らし」を送れるよう、地域の生涯スポーツを推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

これまでの主な取組

跡利用の推進

- 施設の状況や地域の要望に配慮しながら、跡利用方法を検討
 - ◆ 旧川内北小学校について、跡利用方法を「桐生みやま園の移転用地」に変更
 - ◆ 旧北中学校について、群馬大学の研究拠点化に向けた協議を継続
 - ◆ 旧養護学校について、アスベスト事前調査及び分析調査を実施
 - ◆ 旧昭和小学校について、跡利用方法を「公用または公共用に供する施設」に決定（水道庁舎として使用）
 - ◆ 旧西中学校（校舎）について、跡利用方法を「総合教育センター」に決定



旧昭和小学校



旧西中学校

令和5年度に予定する取組

- 跡利用方法を決定した施設の具現化を進めるとともに、未決定施設の跡利用方法の見直しを含め、有効活用方法を検討

進捗状況
R5.3月末時点

B

健康寿命の延伸（健康なまち桐生を応援）

生涯スポーツの振興で、成人病の予防、介護予防を積極的に進めます。健康で、幸せの実感！「健幸ポイント制度」の研究に取り組みます。



これまでの主な取組

健康づくりの推進

- きりゅう健康ポイント事業「100点チャレンジ」を実施
- 「高齢者ボランティアポイント事業」を実施
- 介護予防教室の開催や「元気おりおり体操」の普及啓発を実施
- 活動量計を用いた歩く健康づくりの取組を開始
- 住民主体の通いの場におけるリハビリテーション専門職の派遣事業を開始



令和5年度に予定する取組

- 帯状疱疹発症予防のためのワクチン接種助成制度を開始
- 市民の健康増進や健康寿命の延伸を図るため、健康に関心が薄い方々でも楽しみながら健康づくりができるためのインセンティブとして、「きりゅう健康ポイント事業『100点チャレンジ』」に「桐ペイ」を活用

進捗状況
R5.3月末時点

A

7. 便利で、快適な、交通網の整備！

公約
番号

項目

34. 公共交通の利便性を高め、交通弱者を守るとともに、交流人口の増加を図ります
35. 北関東道のアクセス道路・国道50号の4車線化を進めます
36. 広域道路網の整備と交差点改良でスムーズな流れを



公共交通の利便性を高め、交通弱者を守るとともに、 交流人口の増加を図ります

桐生の誇る鉄道網（JR・東武・上電・わ鉄）とおりひめバスやMAYU、を有効活用し、公共交通の利便性を高め、高齢者の運転免許返納者や交通弱者を守るとともに、交流人口の増加を図ります。

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

これまでの主な取組

鉄道利用の促進

- 東武新桐生駅のバリアフリー化（エレベーターの設置等）を推進（R4.3完成）
- 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、上毛電気鉄道株式会社及びわたらせ渓谷鐵道株式会社に対し、県及び沿線自治体と協調して運行継続に必要な支援を実施

バス交通網の充実

- おりひめバスの改正を実施（R3.4.1～）
- おりひめバスの運行状況等を調べられる「バス予報」を導入（R4.7.1～）
- 新里町デマンドタクシーの町外の乗り入れポイントを拡充（赤城駅・大間々駅）（R3.2.1～）



東武新桐生駅



「バス予報」トップページ

令和5年度に予定する取組

- 本市交通施策の目指すべき方向性を示す「（仮称）桐生市交通ビジョン」を策定
- 群馬大学による次世代モビリティの研究と連携した新たな移動手段について検討するとともに、実証実験への協力を実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

北関東道のアクセス道路・国道50号の4車線化を進めます

北関東自動車道インターへのアクセス道や国道50号（笠前道路）4車線化の早期完成へ向けて促進に取り組みます。（仮称）足利西スマートICへのアクセス道の整備にも、足利市としっかりと連携します。県議会議員の経験と人脈を活かして、県や国にも働きかけます。



これまでの主な取組

関係機関・関係団体への要望活動の実施

- 「県道太田桐生線バイパス」、
「渡良瀬幹線道路」、
国道50号「前橋笠懸道路」などの
早期完成に向けた要望活動を実施



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、国や群馬県などの関係機関・関係団体への要望活動を実施

進捗状況
R5.3月末時点

B

広域道路網の整備と交差点改良でスムーズな流れを

広域道路網の整備促進で、産業・物流の強化をはかります。
朝夕の通勤時の慢性的に渋滞する主要道路の交差点改良に取り組み、流れをスムーズに利便性を高めます。



これまでの主な取組

広域道路網の整備と交差点改良

- 群馬県と連携した幹線道路網の整備を推進（赤岩線）
- 中通り大橋線4車線全線開通に伴う市街地の内環状道路・周辺道路の整備を推進
 - ◆ 錦琴平線一部区間の供用開始
(中通り大橋北詰交差点～小梅琴平公園入口)
- 慢性的な交通渋滞の解消に向け、交差点改良を群馬県へ要望
(広沢町一丁目国道122号交差点など)



錦琴平線

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、群馬県と連携した広域道路網の整備と交差点改良を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

8 .役所が変われば、まちが変わる 市民参加と市役所一新を！

公約
番号

項目

- 37. 現場主義！！出向く行政の推進と、まちづくり懇談会に全力投球
- 38. 行政運営から行政経営へ！
- 39. 職員の意識改革
- 40. 支所機能の充実
- 41. 広報監（市の営業企画部門）設置の検討、自主財源の拡大を



『現場に神宿る』役所で待つ体制から、どんどん現場へ『出向く行政』の推進。市民・団体・企業との「まちづくり懇談会」を活発化して、「共感」、「共創」を実感できるオール桐生でまちづくりを進めます。学生や若者との「まちづくりミーティング」を積極的に行い、次世代のリーダー育成を促進し、若い発想を市政に反映します。

これまでの主な取組

市民との対話の推進

- 「公約推進のためのまちづくり懇談会」を実施
- 「市長対話集会『笑顔のふれあいトーク』」を実施
- 様々なテーマの下「まちづくりミーティング」を実施



公約推進のためのまちづくり懇談会



市長対話集会「笑顔のふれあいトーク」



まちづくりミーティング

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、『現場に神宿る』精神で、「公約推進のためのまちづくり懇談会」、「市長対話集会『笑顔のふれあいトーク』」、「まちづくりミーティング」を実施

進捗状況
R5.3月末時点

A

これまでの主な取組

行政改革の推進

- 「桐生市行政改革方針実施計画」に基づき、
 - ◆ 「DX推進室」を設置するなど、効率的・効果的な組織体制の構築に向けた機構改革を実施
 - ◆ デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向け、株式会社NTTドコモとメディアランド・ウィング株式会社との連携協定を締結
 - ◆ 国のDX推進の取組に合わせ、一部の手続きにオンライン申請を導入
 - ◆ 自主財源の拡充のため、ネーミングライツや企業版ふるさと納税を実施



行政経営スキルの向上

- 行政経営スキルを身につけるための研修を実施



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、職員の行政経営スキルの向上に資する研修を実施するとともに、DXを推進しながら、行政改革方針実施計画に基づく取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

職員が「やりがい」を感じ、いきいきと活躍できる市役所。
職員ひとり一人が、行政のプロとしての意識改革で、前例主義の改革と提案力の推進を促します。

これまでの主な取組

職員資質の向上

- 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合に加入
- 機構改革により、「人材育成課」を設置
- 職員の発想力や企画力、戦略的思考力を向上させるための特別研修を実施
- 現場を知る、地域を知るための研修を実施
- 職員提案の具現化を図るための検討委員会を設置



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、職員の資質向上に向けた研修等を実施するとともに、職員表彰や職員提案の具現化など、職員の励みや意欲につなげられる取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

新里・黒保根支所の機能の充実で、地域コミュニティの活性化と充実に取り組みます。

4 質の高い教育を みんなに 	11 住み続けられる まちづくりを 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
---	--	--

これまでの主な取組

新里・黒保根地域コミュニティの活性化

- 地域おこし協力隊の活動への支援を通じた地域活性化策を推進
- 住民の交流を図る機会を創出するため、公民館事業等を推進



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、地域おこし協力隊の活動や公民館事業等による、地域活性化策を推進するとともに、地域コミュニティの維持活性化のための取組を検討・実施

進捗状況
R5.3月末時点

B

広報監（市の営業企画部門）設置の検討、自主財源の拡大を

広報監（市の営業企画部門）の設置の検討。
命名権（ネーミングライツ）やおいしい水の販売の企画など、自主財源の拡充に結びつけるセクションの新設。

11 住み続けられる まちづくりを	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう

これまでの主な取組

広報監の設置による広報機能の強化

- 広報監の助言・指導等による多角的な情報発信を実施
 - ◆ 幹部職を対象にした「桐生市広報監セミナー」を実施
 - ◆ 市民向け講演会の実施
 - ◆ 民間との連携による「ニッポンの神業ミュージアム」の施設招致



「桐生市広報監セミナー」の様子



ニッポンの神業ミュージアム

新たな自主財源の拡充

- ネーミングライツを実施
- 企業版ふるさと納税を開始



令和5年度に予定する取組

- SNSなど多様化する情報媒体を有効活用し、効果的なメディアプロモーションを展開するための専門的知見を有する外部人材を新たに登用
- 引き続き、企業版ふるさと納税等による財源拡充のための取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

9 .未来志向の広域行政を推進！

公約
番号

項 目

- 42. 『桐生・みどり未来会議』の設置を提案します！
みどり市との連携で、効率的な行政を
- 43. 環境保全に広域連携で、豊かな自然を将来へ！
- 44. 次世代の広域行政の在り方を、近隣自治体と共に考え、県・国へ提案します
- 45. 首都圏の都市との交流・連携を進め、都市間の互惠関係を構築する研究



『桐生・みどり未来会議』の設置を提案します！ みどり市との連携で、効率的な行政を

未来に向かってこの地域のあり方、広域事業や施設のあり方を定期的に協議し、効率的な行政連携を進めます。

これまでの主な取組

『桐生・みどり未来創生会議』を設置

- 両市が緊密に連携し、市民が享受するメリットの最大化を目指した政策連携を推進
- 公共施設のあり方を協議するため、桐生・みどり未来創生会議市民委員による共同事業4施設の見学会を実施



令和5年度に予定する取組

- 「桐生・みどり未来創生会議」の方向性を検討する中で、両市が緊密に連携し、市民が享受するメリットの最大化を目指した政策連携を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

環境保全に広域連携で、豊かな自然を将来へ！

絶滅危惧種カッコソウをはじめ、桐生の豊かな自然を将来へ引き継ぐ為にも、みどり市や近隣自治体とも連携し積極的な保全活動を行います。

6 安全な水とトイレ を世界中に	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
		

これまでの主な取組

カッコソウを通じた環境保全活動の推進

- カッコソウ協議会の下、桐生市及びみどり市の環境保全活動を推進
- カッコソウ協議会による桐生市及びみどり市の環境保全活動を引き続き実施するとともに、カッコソウのロゴマークを付した啓発品（バッジ、クリアファイル及びポストカード等）による周知啓発を実施
- カッコソウを題材にした動画による環境教育を小学生を対象に実施



カッコソウを題材にした動画による環境教育



令和5年度に予定する取組

- 引き続き、カッコソウを題材にした動画による環境教育を行うなど、カッコソウを通じた環境保全活動を推進

進捗状況
R5.3月末時点

A

これまでの主な取組

広域行政の推進

- 国の進める地方公共団体の広域連携に関する方向性等を踏まえながら、「両毛広域都市圏整備研究会」等において、近隣自治体との広域行政のあり方を検討
- 広域行政で取り組む先進事例や国の制度等の調査研究を行いながら、本市が広域行政で実施すべき取組を検討



令和5年度に予定する取組

- 本市が広域行政で実施すべき取組を検討・実施しながら、必要となる支援措置について国への要望を実施

首都圏の都市との交流・連携を進め、都市間の互恵関係を構築する研究

『首都圏の都市との飛び地合併！？』のような大胆な発想を持って、首都圏の都市と互いの長所・短所を補完し合い、互いの利益と発展につながる仕組みづくりを研究します。

これまでの主な取組

首都圏都市との互恵関係の構築に向けた研究

- これまでの取組等を通じて関係のある首都圏都市との連携により、互恵関係が構築可能な取組を検討
- 首都圏の都市と互いの長所・短所を補完し合い、互いの利益と発展につながる仕組みづくりを検討



令和5年度に予定する取組

- 首都圏都市との互恵関係の構築に向けた取組を検討・実施

進捗状況
R5.3月末時点

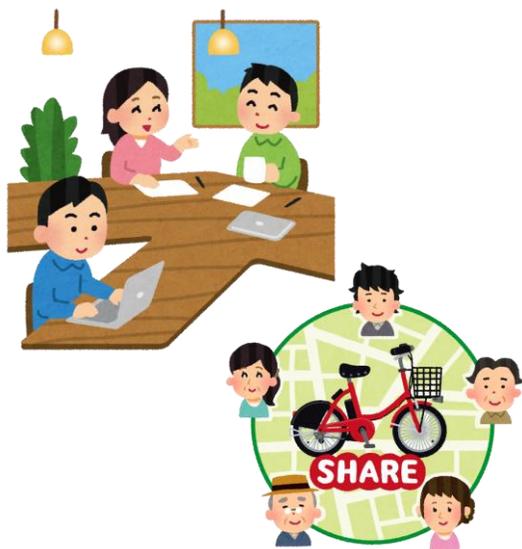
C

10.オール桐生で「新たな価値観」を創造・共有するまちづくり

公約
番号

項目

- 46. シェアリングシティ桐生・構想「公助から共助へ」
- 47. 将来もずっと安心して、住み続けられるまちづくり「SDGs（エスディー・ジーズ）」の推進
- 48. 新たな時代の自治会のあり方・運営を共に考え・共に創る



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





シェアリングシティ桐生・構想「公助から共助へ」

限りある財源の中で全てを行政サービスが、カバーすることはできません。桐生エリアの市民のそれぞれが持つ「場所、モノ、時間、経験、能力」を無駄なく共有（シェアリング）することで、地域の助け合い「共助」を促進し、様々な地域課題を解決するまち「シェアリングシティ・桐生」の構想と、その仕組みづくりに全力投球。たとえば・・・子育て【子どもの送迎、一時預かり】交通弱者対策【買い物や通院時の車の乗り合わせ】など・・・。

これまでの主な取組

シェアリングシティの実現に向けた取組の推進

- 「SDGs達成に向けた桐生市の取組集」にシェアリングシティ（共助）の理念を反映
- シェアリングエコノミーに関する取組を推進
 - ◆ クラウドソーシングサービスを活用したデザインの公募を実施
 - ◆ 公共スペースの有効活用を推進
 - ◆ 低利用施設の黒保根町交流促進センターを活用したワーケーションを推進
 - ◆ 桐生が岡公園内で遊園地・動物園に関連した商品等を販売する自動販売機を設置
 - ◆ 市営住宅団地内における移動販売事業を開始



市営住宅団地内における移動販売



市制施行100周年記念ロゴマーク

SDGs達成に向けた桐生市の取組集 16

桐生市は、様々な課題をあらゆる“つながり”によって解決するまち「シェアリングシティ・桐生」の実現のために、市民の参加をはじめ、事業者や各種団体等との官民共創のまちづくりを進めています。ゴール7を特別なゴールと位置付け、市民参画の充実を図るとともに、公民連携や産学官連携による様々な取組を推進していきます。

パートナーシップによる官民共創の事例

○市長対話集会「笑顔のふれあいトーク」まちづくりミーティング
(担当 特命推進室)

市政について市長が直接市民の声を聴取し、意見交換を行うために、「笑顔のふれあいトーク」を開催しています。

また、市長が市内で活動する者等と直接意見交換をしながら、共に地域課題の解決や新たな取組等を創造するために、「まちづくりミーティング」を開催しています。

◆一人ひとりの力を合わせて目標を達成させましょう。
持続可能なまちづくりを進めるためには一人ひとりが「自分ごと」として、まちを想い、関わり、協力し、共創していくことが重要になります。市政や地域活動に興味・関心を持ち、積極的に市政への参画や地域行事等に参加してみませんか。

<参画URL> <https://www.city.kiryu.lg.jp/shikais/koho/1018100/index.html>

○大学連携事業
(担当 企画課)

地域の課題解決や活性化のために、群馬大学理工学部を核とした産学官連携の促進や、まちと大学の連携強化に取り組んでいます。

◆一人ひとりの力を合わせて目標を達成させましょう。
群馬大学理工学部では、市民の皆様が最先端の研究に触れることができる機会（実証実験やセミナー）や、中高校生を対象とした理科の知識を楽しく学べるイベントなど、皆さんの取組を実施しています。これらの取組に参加し、世の中を便利にする先端の科学技術への理解を深めてみませんか。

<参画URL> <https://www.city.kiryu.lg.jp/sangosai/1018102/1018102/shikaku/1002472.html>

SDGs達成に向けた桐生市の取組集



黒保根町交流促進センター



共 助

令和5年度に予定する取組

- 引き続き、様々な課題をあらゆる“つながり”によって解決するまち「シェアリングシティ桐生」の実現のため、市民参画の充実を図るとともに、公民連携による様々な取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

将来もずっと安心して、住み続けられるまちづくりSDGs（エスディー・ジーズ）」の推進

市民みんなで、将来も安心して住み続けられるまちの為に、市民の皆さんと価値観の共有に全力投球します。「環境・福祉・教育・公平・産業・エネルギー」など、様々な分野で『今だけでなく、将来も持続可能』な開発目標を心がけ、市の施策に反映します。
【SDGsとは、国連が定める、世界のすべての人達が将来に渡って幸せになる為の17の持続可能な開発目標です。既に先進都市は様々なまちづくりに活かしています。】

これまでの主な取組

SDGsの達成に向けた取組の推進

- SDGsを反映させた「桐生市第六次総合計画」を策定
- SDGsの全庁的な推進を図るため、市長を本部長とした「SDGs推進本部」を設置
- 市民団体との協働により、市民向けにSDGsの理解と行動に結び付けるイベントを開催
- SDGsの普及啓発のための取組の推進
 - ◆ 市広報やチラシ、報道発表資料にSDGsのロゴマークを掲載
 - ◆ 民間等が行うSDGsの達成に向けた取組に対し、後援等を実施
 - ◆ 市HPに市民一人ひとりが個人でできるSDGsの取組の紹介ページや桐生市SNS活用プロジェクトチームの職員制作によるSDGs啓発動画等を公開
 - ◆ 市民向けにSDGs出前講座を実施
 - ◆ 「SDGs達成に向けた桐生市の取組集」を作成
- 国のSDGs未来都市認定制度へ応募



SDGs17色のひもかわ

令和5年度に予定する取組

- SDGs未来都市の実現に向けた取組を推進
- 「SDGs推進本部」の下、安心して住み続けられるまちづくりを目指し、SDGsの達成のに向けた取組を推進

進捗状況
R5.3月末時点

B

新たな時代の自治会のあり方・運営を共に考え・共に創る

現在の行政区や自治会の抱える「担い手不足」や『地域間格差』などの課題の解決に向けて、新たな発想で先進事例を積極的に研究し、桐生らしい「自主自立した地域活動」を持続的に運営できるよう、市民の皆さんと共に考え、共に創ります。

これまでの主な取組

自治会のあり方・運営の検討

- 市長が区長・区長代理等の自治組織の役員から意見を聴取する「区長と市長の集い」を開催
- 自治組織で負担となっている事務を洗い出し、事務委託契約の見直し検討会議等を実施
- 自治組織の課題を個別・具体的に回答するアンケート調査・意見聴取を実施



「区長と市長の集い」の様子



令和5年度に予定する取組

- 自治組織の持続可能な運営体制の確保に向け、新たな時代の自治会のあり方・運営を市民と共に検討し、取組を推進
- 自治組織の負担軽減のため、本市の委託業務の見直しについて、役員との協議を継続実施

進捗状況
R5.3月末時点

B